

各チームへの連絡事項

1. 開場時刻は、7：15ですが各チーム3密にならないようお願いします。
2. 当日7：00～8：00に、団体の責任者は受付を行ってください。
 - *欠場選手の有無にかかわらず、欠場選手一覧表を提出のこと。
 - *大会プログラム参照の上、2種目重なれば2種目同時出場届の提出のこと。
3. チーム関係者(帯同役員含む)は、各人で体調管理チェックシートをTICに提出しリストバンドを装着し東側階段より入退場すること。
4. 選手は、東側階段入口にて体調管理チェックシートを各人で提出し、リストバンドを受け取り装着し入退場すること。
5. 選手・チーム関係者の待機場所は、東側階段を上がり観客席中央より東側スタンド及びコンコースで待機のこと。熱中症に注意しながら待機中は、極力マスク着用をお願いします。
6. 一般・観客は、TICにて「応援者・観客連絡先記入表」に必要事項を記入の上、体温測定等異常なければリストバンド受け取り装着し西側階段入口より入退場し観客席中央より西側のみの使用をお願いします。(出来るだけ「応援者・観客連絡先記入表」を記入の上、ご持参いただくようお願いします。)
 - *声を出さないで拍手のみでの応援をお願いします。
 - *くれぐれもコンコースにとどまらないようお願いします。
7. 開会式及び表彰式は、行いません。
 - *1位～8位まで賞状を正面玄関前で受け取ってください。(団体得点の部は、1位～3位)
8. 帯同役員は、8：00正面玄関前に集合をお願いします。
9. 競技場西側駐車場は、大会役員の駐車場です。役員以外は、絶対に止めないこと。団体や保護者の駐車場は、競技場東側と球技場に駐車してください。
10. 自分の持ち物は自分で管理してください。移動しやすいように各人で透明ビニール袋(700程度)を準備し、ナンバーと団名・氏名を記入のこと。
11. トラック競技における荷物運搬要領は、次の通りとする。
 - ①各人で準備した名前入りビニール袋を持参する。
 - ②スタート地点で衣類を入れて所定の位置に置く。
 - ③担当役員がフィニッシュ地点まで運搬する。尚、リレー種目の荷物は運搬しません。
 - ④フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
12. リレーオーダーは、招集完了時刻1時間前までにTICに提出すること。

競技上の注意事項

1. 本大会は、2022年度(財)日本陸上競技連盟規則および本大会の開催要項によって運営する。
2. 招集方法、完了時刻について
 - 1) 招集所(競技者係)は、第1ゲート外側に設ける。招集時刻に遅れた場合は、競技に出場できないことがありますので時間を厳守すること。欠場する場合は、欠場届を必ず事前に提出すること。各団体の引率者は、マスク着用の上、招集時刻までに招集所まで選手を誘導してください。
 - 2) 招集時刻は下記の通りとし、招集所で確認を受けたら競技者係の指示に従う。
 - ・トラック競技 競技開始30分前に開始し20分前に完了する。
組ごとに招集時時刻が異なるので、日程表に記載の時刻を厳守のこと。
 - ・フィールド競技 競技開始40分前に開始し30分前に完了とする。

3. 練習会場・時間について

- 1) 競技場内での練習は、7:20～8:20までとします。
- 2) 8:20以降のウォーミングアップは、雨天練習場や競技場外側を使用してください。但し、ハードルやスタブロの設置及び逆走は、禁止します。
*雨天練習場については、必ず指導者が同行し、第3ゲート横ドアから出入りすること。
*ジョギング及びウォーキングコースについては、一般市民の方も利用されますのでジョギング以外は行わないこと。(事故の無いよう指導者・保護者が付くことが望ましい。)

4. 競技方法について

- 1) スパイクシューズのスパイクは、全天候型舗装用とし、その長さは9mm以下とする。
- 2) スタートは、クラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。但し、3年生は、スタンディングスタートとする。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- 3) 80mHは、男女ともハードル高さ70cm、スタートから第1ハードルまで13m、ハードル間7m、ハードルの台数9台、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
スタートは、クラウチングスタートとする。
- 4) スタートはイングリッシュコールで行う。
- 5) 5,6年生800mは、セパレートでのスタートとする。ただし、三種800mは、オープンとする。
- 6) 5,6年生1000mは、2グループでのスタートとする。ただし、三種1000mは、オープンとする。
- 7) 走幅跳の試技数は全員3回とする。
- 8) 走高跳の跳び方は、はさみ跳びとし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。尚、練習は95cmで行い、競技は100cmから始め、バーの上げ方は120cmまで5cmきざみとし、それ以降は3cmきざみとする。
- 9) ジャベリックボール投げの試技は全員3回とし、助走距離は15m以内とする。器具は主催者が用意したものをを使用すること。
- 10) ジャベリックボール投げの試技は、競技場に準備してある炭酸マグネシウムをボールの先端に付け、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げる。
*羽の部分だけを持って投げることは禁止。

5. 競技場使用上の注意

- 1) 競技場内を移動する場合は、スパイクを脱いでスタンド下の移動用通路を通ってください。フィールド内へ、持込が出来る飲み物は、水のみです。
(スポーツドリンクやお茶等は持ち込めません。)
- 2) 指導者、保護者の競技場内での応援、指導はできません。
緑色のビブスを着ていても競技場内には入れません。(雨天練習場への入場可)
- 3) 選手がスタンドやコンコースで走りまわったり、大声で騒いだりすると、競技中の選手や周りの人たちの迷惑になるばかりか、大きな怪我につながる恐れがありますので団体の指導者・引率者で責任をもって指導してください。(マスク着用もお願いします。)
- 4) 審判役員・帯同役員は、競技場内での撮影および応援はできません。
- 5) コロナ感染症対策として大会関係者(応援・観客含む)は、マスクの着用(選手の競技中を除く)をお願いします。また、別紙連絡事項(別添1・2・3)を遵守してください。

「競技者」及び「チーム関係者」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、大会の参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

記

1. 体調管理

「競技者」及び「チーム関係者」全ての者は、大会1週間前から【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。))を記入し、大会当日「選手受付」に提出しリストバンドを受け取り必ず装着する。(※チーム・学校の場合は、代表者がまとめて提出すること。但し、各大会での受付要領を優先する。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身で保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は自主的に参加を見合わせること。

※「体調管理チェックシート」を提出しない競技者は、出場不可とする。

また、健康状態が不確かな競技者は検温を行い、状況により参加を許可しないことがある。

2. 3密の回避

3密回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

①ウォーミングアップは個別に行うこと。

②更衣室の滞在は短時間にすること。(シャワールームの使用は原則禁止とする。)

③競技場客席(スタンド等)への入場については、各大会で指定された箇所からのみとする。

④競技場2Fのコンコースで待機等をする者は必要最小限(マッサージを受ける者等)とし、間隔を十分に取ること。(通常の待機等は競技場客席(スタンド等)を使用)

⑤大きな声での会話や応援(特に集団での応援)をしないこと。マスクを着用すること。

⑥集団での写真撮影は避け各々で撮影すること。

3. 感染症対策

①各自の責任で、手洗い、うがい、洗顔、マスク着用を徹底すること。

・競技終了後は、直ちに「第1ゲート外側の階段を上った先のトイレ(手洗場)」で、手洗い、うがい、洗顔(マイタオルを使用すること)を行うこと。特に、競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をすること。

②マスクの着用について

・競技(試技)中のマスクの着用は必要ない。(ウォーミングアップ中も同様)

・招集中や移動中及び待機中はマスクを着用するよう心がけること。

(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。)

・マスク着用による熱中症に気をつけること。

③運動中につばや痰(タン)を吐くことは極力行わないこと。

④飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えば走路上)に捨てないこと。

⑤体液(汗等)の付着したゴミは自己責任で処理すること。(基本的に持ち帰り)

4. その他

①マイマスク・マイタオルを持参すること。

②「接触確認アプリ」をインストールすること。

③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

④大会終了後、【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートにより2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はない。】

⑤参加者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。

⑥大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

「大会／競技役員」及び「補助員」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、出席を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

記

1. 体調管理

大会1週間前から「【大会前・提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(以下「体調管理チェックシート」という。)」を記入し、大会当日、**大会役員は「大会役員受付」、競技役員は「競技役員受付」へ、また、補助員は補助員の「集合時」に提出しリストバンドを受け取り必ず装着する。**

(※チーム・学校の場合は、代表者がまとめて提出すること。但し、各大会での受付要領を優先する。また、提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。)

なお、大会当日(時点)3日前より、当該事項に該当がある場合は、自主的に出席を見合わせる。

※「体調管理チェックシート」を提出しない者は、出席不可とする。

また、健康状態が不確かな者は検温を行い、状況により出席を許可しないことがある。

2. 3密の回避

3密の回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

3. 感染症対策

①各自の責任で、手洗い、うがい、洗顔、マスク着用を徹底すること。

(※特に、用器具、通信機器、審判用具、計測機器、情報端末、その他共用物の使用後は手洗い・手指の消毒・洗顔を欠かさないこと。)

②マスクの着用について

・移動中及び待機中はマスクを着用するよう心がけること。(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。)

・マスク着用による熱中症に気をつけること。

③緊急時には、マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡又はサングラス(UVカットグラス)及び使い捨ての手袋がすぐ着けられるよう携帯すること。

④競技者との接触を極力減らす工夫をすること。

4. その他

①マイマスク・マイタオルを持参すること。

②「接触確認アプリ」をインストールすること。

③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。

④大会終了後、「【大会後・個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」により2週間の体調管理・検温を行うこと。【提出の必要はない。】

⑤出席者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。

⑥大会主催者の免責事項

・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。

・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

「応援者・観客」の皆様へ！！【重要】

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させるため、下記のとおり対応すること。

また、これを遵守できない者には、競技会に関わる全ての人の安全・安心を確保するため、応援・観戦中であっても退席を求めたりすることがある。

※自治体の指示や地域の状況によっては、競技場客席(スタンド等)の閉鎖(応援者・観戦者を入れない)や入場者数を制限することがある。

1. 体調管理

体調管理を徹底する。

- ①発熱(37℃を超える場合)、咳、倦怠感、咽頭痛などが見られる場合は観戦できない。
- ②サーモメーター等を利用した競技場入場時の体温チェックを行う。また、入場口で『「応援者・観客」連絡先表』に必要事項を記入し提出しリストバンドを受け取り必ず装着すること。(※各大会での指定した箇所から入場)

2. 3密の回避

3密の回避行動を常に心掛け、周囲の人となるべく距離(※できるだけ2m最低1mを目安・以下「ソーシャルディスタンス」という。)を空けること。(介助者や誘導者の必要な場合を除く。)

- ①他観戦者と十分な距離を空けて観戦すること。また、競技場客席内の移動を制限する場合がある。(※観戦可能座席を設定する場合がある。)
- ②濃厚接触や混雑を緩和するため、入退場時に、開場・閉場時間を設定することがある。また、入退場時に待機列、入場列ゾーニング等の設定や券種、座席場所に基づいた制退場などを行う場合がある。
- ③競技者に付添う場合の競技者との接触時には、ソーシャルディスタンスを確保し、会話に注意すること。
- ④競技者との交流(サイン色紙の要求、ハイタッチ等)は原則実施しない。
- ⑤「3密」の状態が発生しやすくなるため、喫煙所を設置しない。
- ⑥競技場内での飲食物の販売を抑制する場合がある。
- ⑦観客を限定的に入れても十分な広さがある場合は、競技場客席(スタンドなど)をチーム関係者など待機スペースとして使用する場合がある。

3. 感染症対策

- ①観戦中は、マスクを着用すること。(※ソーシャルディスタンスが確保できている場合の着用は必要ない。マスク着用による熱中症には十分気をつけること。)
- ②手洗いや咳エチケットなどの実施を心がけること。
- ③飛沫感染の予防のため、声を出しての応援(声援、応援歌)・集団での応援を行わないこと。
- ④トイレ(便座、ドアノブ、水洗トイレのレバー等)を清潔に保つこと。(便座の蓋をしてから流す)
- ⑤「ゴミ」は各自持ち帰ること。

4. その他

- ①マイマスク・マイタオルを持参すること。
- ②「接触確認アプリ」をインストールすること。
- ③体調に異変を感じたら、直ちに医務員に相談すること。
- ④参加者は症状が4日以上続く場合は、必ず「かかりつけ医」又は「受診・相談センター(＃7700または083-902-2510)」に連絡し、大会主催者に報告すること。
- ⑤観客に感染者が出た場合、周囲に座っていた方を特定するために次のような対策を行う。

【座席指定席の場合】

・入場者が何時にどの席に座っていたか把握できるような管理体制を構築する。

【自由席の場合】

・観戦者が何時にどの座席・エリアに座っていたかを申告していただく場合がある。
(※観戦場所【座席番号等】をスマートフォン等で撮影し、2週間保存すること。)

⑥大会主催者の免責事項

- ・大会主催者が加入する保険は、「競技者」及び「大会／競技役員」・「補助員」の「傷害」及び「熱中症」に係る補償のみ。
- ・大会主催者は競技会に関する全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。